

■評価項目一覧
黄色セルは自動計算のため入力不要

審査・採択候補先	無
評価者	〇〇 〇〇

評価項目一覧

■内容（技術点）
基礎点の評価の観点の一つでも満たしていない場合は不合格となる。内容に関しては、不合格の判定ミスの可能性も考えられるため、途中不合格の項目があっても、一旦全て評価した上で確認を依頼する。
※基礎点は、評価の観点を満たしていれば配点を転記、満たしていなければ0点とする。

大項目	提原書の目次	小項目	基礎点		加減			加減理由	
			評価の観点	配点	得点	評価の観点	配点		得点
1.事業の目的、内容、および実施方法									
		1.1 事業目的	・事業の目的が、仕様書の「経緯と事業目的」の内容と合致しているか。	10	10				
		1.2 事業内容	・事業の内容が、仕様書の「事業内容」と合致しているか。	10	・提案・見積依頼書の「入札をすすめる上での心構え」、被災12市町村の農業者の事業・生業・生活の再建に向けた思い等への理解・配慮がなされているか。	10			
					・仕様書の事業内容の成果を高めるような提案がなされているか。				
(1) 個別案件に関する対応方針作成等に関する支援	25								
(2) 農業者のニーズに応じた新規販路開拓支援	30								
(3) 当機構の新たな支援施策の検討および提案	15								
(4) 農業者が出荷を希望する農産物（加工品含む）の市場規模・出荷候補先等の調査に関する支援	15								
(5) 販路支援に資する野菜の品種選び及び流通構造を理解した販路開拓に関する研修会の実施	15								
1.3 事業実施方法	・事業実施方法が、事業目的、事業内容と整合しているか。 ・機構と連絡・相談ができる体制を構築できているか。	5	5	20					
2.事業実施計画									
		2.1 事業実施計画	・事業実施計画が、仕様書の計画と合致しているか。 ・仕様書の実施期間と合致しているか。 ・作業内容ごとの実施期間が記載されているか。 ・事業実施計画が妥当であることの根拠（人員・手順等）が具体的に示されているか。	5	5	20			
3.事業実施体制									
		3.1 事業実施体制・役割分担	・事業の実施体制及び役割が、事業内容、実施方法と整合しているか。 ・要員数、役割分担が明確か。 ・事業遂行可能な人数が確保されているか。	5	5	10			
		3.2 組織としてのネットワーク・人的基盤	・組織として事業内容に関する書籍の出版、資格の取得、または類似事業実績があること。	5	・欠員が出る等、不測の事態が生じた場合でも、継続して事業を実施できる体制であること。 例1：欠員と同程度のスキルを持った人員を派遣できる。 例2：事業の進捗状況を組織内で共有しており他人員への引き継ぎが容易である。	10			
					・組織として類似事業実績があること。 例1：福島県あるいは宮城県において過去に商談調整等を実施したことがある販路候補を複数保有している。 例2：農産物の販路開拓に向けた家電調査、物流構築、見積作成、商談調整、商談同行等の事業実績がある。	10			
					・組織として個別案件もしくは各実施項目に活かすことのできる事業実績があること。 例1：農産物の市場調査（市場規模、トレンド、モデル事業等）の調査・報告を行った実績がある。 例2：事業者と消費者の個別マッチングの事業実績がある。	10			
3.3 事業従事予定者の専門性、類似事業実績	・事業従事予定者（商談が重複しても同時に取り組めるよう、複数の事業従事予定者がいることが望ましい）は、事業遂行に必要な資格を有していること。	5	5	20					
3.4 事業遂行のための経営基盤・管理体制	・一定以上の資金・設備を有していること。 ・事業を遂行する部門の他、管理部門、内部統制部門等があり、管理・統制されている組織であること。 ・情報管理に関する社内規程がある、情報管理に関する資格を取得している等、情報管理責任者が明確化されている情報管理体制があること。	5	・過去本事業または外部専門家を活用した支援において、適切に事業遂行した実績があること。 （業務遂行できていたら20点、是正措置にて改善できて業務遂行できたら10点、過去実績なし10点）	20					
			・事業遂行に必要な資格を有する事業従事予定者がいること。 例1：スーパー・直売所等の店長経験や作業担当等の商談経験が2年以上 例2：資格（日本農業検定、日本GAP協会GAP指導員、農業簿記検定他）を有している従事者2名以上	20					
			・事業内容に関する書籍出版、講演等の経験を有する事業従事予定者がいること。 例1：被災12市町村の農業者向け野菜栽培研修会を実施 例2：農文協「野菜品種の選び方」、「野菜品種はこうして選ぼう」出版	20					
			・経理処理、管理の体制が確立しているか。 （社内別組織として整理している、経理処理システムを導入している、帳票類の管理・保管ルールがある、など）	3					
			・情報管理について公的な資格（ISO認証等）を取得しているか。	3					
			・情報セキュリティに関する社内規程の整備、アクセス制御、ログ管理、事故時の報告体制の有無、社員教育など、組織的かつ継続的な管理体制を取っているか。	4					

基礎点計 50 / 0

加減計 250 / 0

4.入札価格								
		4.1 入札価格	・予定価格の制限の範囲内であること。 最安値50点 以降50点×（最安値÷対象見積額）	50	50			

基礎点計 50 / 0

無断複製・転載禁止 関係者限り 公益社団法人福島県双復興推進機構